

高齡化する地域社会を考えるシリーズ②

# 地域で支える 高齡期の生活

話題提供者 **村田 順子**  
(和歌山大学教育学部教授)

近年、高齡期にも住み慣れた地域で暮らし続けることを可能にするために、地域包括ケアシステムの構築が目指されています。介護保険制度で提供されるサービスは地域差が大きく、特に小規模自治体では、在宅生活を支えるサービスの整備が進んでいません。そのため、公的なサービスに頼るだけでなく、日常生活に不便や困難を感じている人たちを、地域住民が関わりながら支えていく仕組みづくりが一層必要とされています。

どうやって地域の中で高齡期の生活を支えていけばよいのか、支え合うコミュニティをどう育ていけばよいのか、事例を通して考えます。

参加無料  
申込不要

日時 平成26年 3月19日 **水** 19:00 ~ 20:30

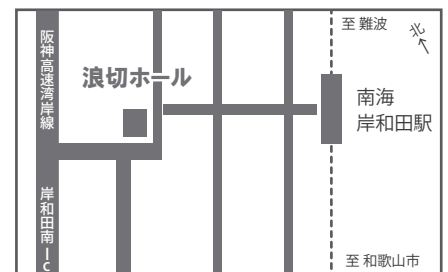
場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分  
駐車場有（平日終日無料）



## わだい浪切サロンとは

毎月第3水曜日の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

## 今後の開催予定

次年度4月以降の浪切サロンについては、2月下旬頃に岸和田サテライトのホームページにてご案内します。お楽しみに！

## 第58回 継承という名の創造行為

～高野口小学校、串本町榎野埼灯台官舎の保存活用をめぐる～

### のアンケートより

- ◇ 元々、建て替えが決定していた事案に対して**住民から改修した方がよいのではという声があがってきた**ということがすばらしいと思いました。住民の意思に基づいて良いもの、納得するものを作っていくには、可能性を示し、意見を聞くといったことが大切なのだ**と改めて感じる**ことが出来ました。(20代・女性)
- ◇ 歴史的な建物に対し、意味を見つけ、残していく力の入れ方がとてもすごいなと感じました。また、建築的に「**残していきたい物**」と「**建て替えたい物**」の見極め方はとても大切だと思いました。(20代・男性)
- ◇ 建築の先生が建築専門の生徒に話す言葉でなく、**素人にわかる言葉を選んで説明していただき**ありがとうございました。(50代・男)



- ◇ 資料を豊富に用意して頂けたので、**後の振り返りに良い**。(40代・男性)
- ◇ すごくわかりやすく、**今の自分が知りたいテーマ**だった。(30代・女性)
- ◇ **質疑応答の時間**があるのが良い。(60代・男性)
- ◇ 終了後の**自由参加の懇親会**が楽しい。(60代・男性)

\* 問合せ先 \*

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel & Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>

浪切サロンのページはこちら

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/pickup/index.html>

🔍 岸和田サテライト 🔍 検索

